4. **論文の訂正**：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある．
5. **校正**：校正は著者による責任校正とする．著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する．
6. **掲載**：論文の掲載は採用順を原則とする．迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること．
   (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける．
   (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する．5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける．
   (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける．
7. **別冊**：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する．

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
   e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編　集　後　記

米国のソルトレイクシティーで開かれていた冬季オリンピックが閉幕した．モーグルの里谷選手やスケートの清水選手の活躍はうれしいニュースであった．彼らの成し遂げた成績はすばらしいものであり，その躍動的な一瞬はまぶしいばかりであった．しかし，何よりも賞賛されるべきものは，彼らがオリンピック本番を迎えるまでに成し遂げた毎日の精進である．スポーツ界で世界一を争うには超一流の才能が必要であり，確かに彼らの運動能力はどの競技を選択したとしても並外れたものであろうと想像される．しかし，2大会を通じてコンスタントな成果を出すことは，才能だけでは難しいであろう．才能にうぬぼれることなく，体力や技術の向上のために全ての生活を犠牲にする覚悟が必要だったろう．

このような超禁欲的生活は短期間のものだとしても我々凡人には到底出来そうにない．しかし，人間の命や健康を預かる使命をもつ医師は，医療のプロとして彼らに見習うべき精進が必要であると思う．我々の目標は金メダルでもないしマスコミに華々しく報道されることでも無い　その目標は短期で達成されるものではないので超禁欲的生活は必要ない．その代わり長期間持続する絶え間ない努力が要求されるのである（これはある意味では短期の超禁欲的生活より難しいかもしれない）．泌尿器科のプロフェショナルとして，日々新しくなる知見を吸収し，高度化する技術を修得していかなくてはならない．このようなことを考えながら，日々の精進を忘れオリンピックのテレビ中継に没頭している自分を戒めている今日この頃である．

（小川　修）

泌尿器科紀要　第48巻　第3号　　2002年3月25日　印刷　　2002年3月31日　発行
発行　小　川　　修　　顧問　吉　田　　修　　発行所　泌尿器科紀要刊行会
〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18　メタボ岡崎301号　電 話 (075) 752-0100
FAX (075) 752-0190
印刷所　山代印刷株式会社　京都市上京区寺之内通小川西入